

平成29年9月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書

(通告者12名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	1 犯罪のない、安全安心なまちづくりについて 2 防犯カメラの設置事業の推進について	17番 丹野 政喜 (1)名取市安全・安心まちづくり条例の制定から4年が経過するが、これまで取り組んできた施策の成果と課題をどのように把握しているのか。 (2)名取市安全・安心まちづくり条例の基本理念を具現化する施策を盛り込んだ、安全安心なまちづくり基本計画を策定すべき。 (3)宮城県警察本部は、子供と女性を対象とした事件の未然防止と再発防止のための警戒活動を強化しているが、市内における子供と女性に対する犯罪の現状と今後の対策は。 (1)地域の防犯力を高め、犯罪の未然防止や検挙に有用な防犯カメラの設置条例を制定すべき。 (2)安全な地域社会実現のため、環境整備事業として防犯カメラの設置補助制度を創設すべき。	市長 市長 市長 市長 市長	
2	1 防災・減災計画について 2 都市計画道路について	9番 佐々木哲男 (1)東日本大震災の津波に関し、平野部に大きな被害を出したのは、避難のための情報発信の不足が原因の一つと考えられている。「石巻市防災サイン実施計画」等を参考にし、災害の記録を残し次世代に継承するため、日常に溶け込む真に機能するサイン計画等を推し進めるべき。 (1)都市計画決定後、20年以上経過している市道・県道の長期未着手路線の把握状況と、これまでの対応内容について伺う。 (2)国土交通省の第8版都市計画運用指針において「道路の都市計画については、都市計画基礎調査や都市交通調査の結果等を踏まえ、また、地域整備の方向性を見直しとあわせて、その必要性や配置、構造等の検証を行い、必要がある場合には都市計画の変更を行うべきである。」とされている。対象路線について、市としての方向性を早期に示し、問題点に応じて適切に見直し作業を行い、関連地権者等に開示すべき。	市長 市長 市長	
3	1 他国によるミサイル発射等に対する市民生命の保護について	5番 吉田 良 (1)北朝鮮によるミサイル発射・通過という8月29日早朝の政府発表を受けての対応を伺う。 (2)市内で一時避難に利用できる主な場所と、その総面積・収容人数を伺う。 (3)攻撃等により庁舎が行政機能を果たせなくなった場合の仮庁舎の位置をあらかじめ設定し、市民に周知すべき。 (4)化学防護服などの装備を充実させ、生物化学兵器による攻撃に即応できる体制を整備すべき。 (5)小中学校を臨時休校とする基準を設けるべき。	市長 消防長 教育長 市長 市長 消防長 教育長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 ポケットギャラリーの使用許可について	<p>(6)安全宣言の時期と発表の方法を検討すべき。 (7)総合防災訓練や小中学校における避難訓練に、ミサイル発射等を想定した訓練を追加すべき。 (8)新たな脅威に備えるため、宮城県国民保護計画の見直しなどを踏まえ、名取市国民保護計画を改定すべき。</p> <p>(1)8月上旬に行われた催しで、会場内に「政府は核兵器禁止条約締結促進を」「安倍総理は条約を否定」との旨が書かれた文書が掲示されていたが、このことについて事実確認の現状と見解を伺う。 (2)特定の思想や組織の宣伝となっていないか、展示内容の確認を徹底すべき。 (3)使用許可基準第5条（使用許可の制限）に政治や宗教の宣伝活動を追加し、違反した個人や団体に対して以後の使用を認めないなどの罰則を設けるべき。</p>	市長 市長 教育長 市長 市長 市長 市長	
4	1 防災について	<p style="text-align: right;">4番 菅原 和子</p> <p>(1)女性の視点を防災に生かすためにも、防災会議の女性委員をふやすべきと考えるがどうか。 (2)避難所の備蓄品として乳幼児用紙おむつ、大人用紙おむつ、生理用品、乳児用液体ミルクを備えるべきと考えるがどうか。 (3)地域防災力の向上のため、防災士の資格取得に対し助成金を交付すべきと考えるがどうか。 (4)土のうステーションを設置すべきと考えるがどうか。</p>	市長 市長 市長 市長	
5	<p>1 石炭火力発電所仙台パワーステーション（PS）に係る公害防止協定について</p> <p>2 少人数学級・35人学級の実施について</p>	<p style="text-align: right;">12番 大沼 宗彦</p> <p>(1)協定書締結までの経過と本市におけるメリット・デメリットをどのように評価して締結したのか。 (2)議会への説明責任と市民の理解を得るための努力をどのようにしたのか。 (3)地球環境保全、パリ協定との関連をどのように検討し、締結は妥当と判断したのか。 (4)PM2.5の問題は今後の大きな問題と考えるが、本市の対策はどのように考えているのか。 (5)結果的に市議会と市民の理解が得られない場合は、公害防止協定からの脱退を決断すべき。</p> <p>(1)きめ細かな教育活動を推進し、確かな学力向上のために少人数学級・35人学級を実現すべき。 (2)本市独自に35人学級を実施する場合、児童生徒数や学級数及び必要な予算などの検討をすべき。 (3)一度に全学年実施が困難な場合は、年次計画として段階的に実施学年をふやすなど、完全実施に向けた計画を示すべき。 (4)国と県に対して、35人以下学級の実現を強く働きかけるべき。</p>	市長 市長 市長 市長 市長 教育長 教育長 教育長 教育長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
6	<p>1 選挙公約の実現に向けた取り組みについて</p> <p>2 閑上小中学校開校に向けた取り組みについて</p>	<p style="text-align: right;">16番 小野寺美穂</p> <p>(1)地下鉄の延伸について ①具体的にどのような調査検討を行ったのか。 ②結果を公表すべき。 ③結果を踏まえ今後の展望をどのように考えているのか。</p> <p>(2)名取スポーツパークについて ①関係機関との連携・調整・連絡等を具体的にどのように行ってきたのか。 ②その結果を受けてどのように活用方法を検討したのか。 ③今後の展望をどのように考えているのかを明確にすべき。</p> <p>(3)ごみの最終処分場について ①リーダーシップを発揮し早期解決をということだが、具体的な取り組みをどのように行ってきたのか。 ②現状と課題をどのように捉えているのか。 ③結論を出す時期を明らかにすべき。</p> <p>(1)現時点での想定される児童生徒数は。 (2)閑上地区以外から通学を予定または希望・検討している児童生徒数と、通学のための手だてをどのように考えているのか。 (3)将来的に児童生徒数が減少した場合について、想定していることはあるのか。 (4)復興という観点から多くの関心を集めると予想されるが、それらの対応について想定しておくべきと考えるがどうか。</p>	<p>市長 市長 市長</p> <p>市長 市長 市長</p> <p>市長 市長 市長</p> <p>市長 市長 市長</p> <p>教育長 教育長</p> <p>教育長 教育長</p>	
7	<p>1 「聞く耳と対話」の政治姿勢について</p>	<p style="text-align: right;">8番 小野 泰弘</p> <p>(1)公約に掲げた企業・行政・地域が一体となった地域経営を目指す中小企業活性化条例案の策定に当たっては、市の責務や企業の努力などの条文が一方的内容にならないよう、中小企業経営者が納得するまで「聞く耳と対話」を重ねるべき。 (2)理念だけの中小企業活性化条例にならないよう、実効性を確保するための具体策を「聞く耳と対話」の中で中小企業経営者に説明し、賛同を得た上で条例に明記すべき。 (3)増田中心市街地活性化のため、小規模事業者へ公約に掲げた支援拡充策を示して、「聞く耳と対話」により最も効果的な施策を模索すべき。 (4)本郷・堀内地区における「新産業エリア」の整備と企業誘致に必要な都市計画の見直しには、水田耕作受託農業者、地権者はもとより地域住民に都市計画決定までの手続を説明し意見を聞くため、「聞く耳と対話」の機会を持つべき。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(5)市民との「聞く耳と対話」が、この1年間にどのような機会に何回実施され、対話の中からいかなる課題を明らかにして市政にどのように反映させたのか。	市 長	
8	1 子育て支援 について	20番 菊地 忍 (1)妊活講座を開催すべきと考えるがどうか。 (2)赤ちゃんの誕生を市を挙げてお祝いする気持ちとして、紙おむつやおもちゃ、子育てに関する情報誌などをボックスに入れて配布する事業を実施すべきと考えるがどうか。 (3)平成28年12月定例会にて赤ちゃんの駅をふやす取り組みについて提言したが、その進捗状況は。また、民間施設の利用時間帯の周知に向けた取り組みについて伺う。	市 長 市 長	
	2 財源の確保 について	(4)eなとりっこに掲載されている「子育てママの公園マップin名取」の情報が古い点を指摘したが改善されていない。情報を更新すべきと考えるがどうか。 (5)なとりマップには公園の位置と名称は掲載されているが、駐車場・トイレ・遊具の有無は掲載されていない。情報提供を図るべきと考えるがどうか。 (6)子ども・子育て支援ガイドに掲載されている内容は一部の情報のみである。子育てに関する情報を広く掲載すべきと考えるがどうか。	市 長 市 長	
		(1)今後のまちづくりに当たり、クラウドファンディングを積極的に活用すべきと考えるがどうか。 (2)企業版ふるさと納税を活用すべきと考えるがどうか。	市 長 市 長	
9	1 地区と行政区、学区の不一致について	3番 齋 浩美 (1)本市の地域コミュニティーを考える場合に、2町4カ村で考えているのか。 (2)不一致について認識はあるのか。 (3)生活圏の実態に合わせた変更などができるように、指針(ガイドライン)を策定すべき。	市 長 市 長 教育長 市 長 教育長	
10	1 子育て支援 環境の充実について	1番 大泉 徳子 (1)市長の重点を置く政策の一つとして子育て支援の充実を掲げているが、現状をどのように捉えているのか伺う。 (2)多岐にわたる支援充実のために、子育てコーディネーターが常駐する「子育て世代包括支援センター」を設置すべき。	市 長 市 長	
	2 市制施行60 周年記念事業 について	(1)市制施行60周年記念事業基本方針の中に、市長を本部長とした市制施行60周年記念事業実施本部を設置するとあるが、全体の組織構成を伺う。	市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考	
		(2) 市民からの要望やアイデアを事業実施の参考とするようだが、1年間を通した記念事業開催時期や内容(ジャンル)のバランスについて、市としての考えを伺う。 (3) 一過性の記念事業ではなく、これからの名取市づくりにつながることを大切だと考える。海外の都市との友好都市締結やロングトレイルに関する事業を実施すべきと考えるがどうか。	市 長 市 長		
1 1	1 市長の政治姿勢について 2 緊急時における対策本部の体制と情報収集、連絡網の確保について	2 番 大久保主計	(1) 市長就任1年間の取り組みについて伺う。 (2) 市長の公約について、定期的に棚卸しを行い、市民にその取り組み内容や進捗状況を明らかにし、見える化するべき。 (1) 東日本大震災の教訓を生かした災害対策本部運用訓練を実施すべき。 (2) 対策本部の情報収集と連絡網の確保体制について伺う。 (3) 市民や事業者と連携し、アマチュア無線やドローンの活用を図るべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
1 2	1 河川環境の整備について 2 名取市の将来像について 3 緑化行政について	1 9 番 山田龍太郎	(1) 高館熊野堂先、太白大橋上流名取川河川敷について、自然環境を生かした生き物と共存する親水性の高い水辺の空間、緑豊かな公園として整備すべき。 (2) 増田川の増田橋から増田川第二水管橋までを、市民の憩いと潤いの場や自然学習の活動拠点となるよう整備すべき。 (1) やがて本市も現実となる課題である急速な少子高齢化と人口減少の進行にどのように対応していこうとしているのか、対応策を今から構想し具現化の準備をすべき。 (1) 本市独自の「やすらぎのある豊かで住み良い理想都市づくり」のために、市の花ハナモモの普及を広く進めるべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	